

# 交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会 技術安全ワーキンググループ報告書目次案

## 交通事故のない社会を目指した 今後の車両安全対策のあり方について

### 序章 これからの日本における車両の安全対策の意義

### 第一章 車両の安全対策を取り巻く状況

#### 第一節 交通事故の現状

- I. 概況
- II. 状態別
- III. 年齢層別
  - 1. 高齢者が被害者となる事故
  - 2. 高齢者が加害者となる事故
  - 3. 子どもが被害者となる事故
- IV. 車種別
- V. 受傷部位別
- VI. 事故類型別

#### 第二節 交通安全対策を取り巻く社会状況

- I. 少子高齢化の進行
- II. 自動車のニーズの変化
- III. 環境意識の高まり等による次世代自動車の普及
- IV. 新技術の開発・普及
- V. 自動車基準の国際調和

## 第二章 今後の車両の安全対策のあり方

### 第一節 高齢者・子どもの安全対策

- I. 高齢者が被害者となる事故への対策
- II. 高齢者が加害者となる事故への対策
- III. 子どもの安全対策

### 第二節 歩行者・自転車乗員の安全対策

- I. 歩行者対策
  - (1) 衝突時の被害軽減対策
  - (2) 衝突回避のための対策
    - ①ドライバー・歩行者の双方の認知の向上
    - ②自動ブレーキ・自動回避操舵
- II. 自転車対策
  - (1) 衝突時の被害軽減対策
  - (2) 衝突回避のための対策

### 第三節 新技術

- I. 先進安全技術の普及を通じた事故防止・被害軽減対策の推進
  - (1) 先進安全技術の評価、基準化
  - (2) 先進安全技術の普及の促進
  - (3) ユーザーにとってわかりやすい「名称」と「機能説明」
- II. 自動走行技術の実用化・高度化への対応
  - (1) 運転支援技術の安全基準の整備
  - (2) 自動走行技術に係るHMIの研究開発の促進
  - (3) 自動走行システムとドライバーの関係
- III. 電動車両・小型モビリティへの対応
  - (1) 電気自動車、ハイブリッド自動車
  - (2) 燃料電池自動車
  - (3) 超小型モビリティ
  - (4) 搭乗型移動支援ロボット

### 第四節 大型車がからむ重大事故対策

#### 他の交通安全対策との連携施策

- I. 「道路交通環境の整備」との連携
- II. 「交通安全思想の普及徹底」及び「安全運転の確保」との連携
- III. 「救急・救助活動」との連携

## 第三章 その他の検討事項

### 第一節 将来の車両の安全対策を進めるための主な検討課題

- I. 事故調査の拡充
- II. 運転支援のあり方
- III. 自動車アセスメントの拡充と基準との一層の連携
- IV. 安全性確認と性能維持に係る仕組み
- V. 将来の「完全自動走行」の安全かつ円滑な実現のための車両基準のあり方

### 第二節 車両の安全対策の推進体制について

### 第三節 削減目標の再評価

おわりに

\*\*\*\*\*

## 付録1 これまでの車両の安全対策の実施状況

### I. 平成11年運輸技術審議会答申以降の車両安全対策の枠組み

1. 安全基準の整備
2. 先進安全自動車（ASV）プロジェクト
3. 自動車アセスメント
4. 平成11年運輸技術審議会答申等に示された削減目標と達成状況について

### II. 平成23年報告書に基づく車両の安全対策の取り組みと低減目標

1. 平成23年報告書の概要
  - (1) これからの車両の安全対策
  - (2) 対策推進のための共通課題への対応
  - (3) 車両の安全対策による死者数の削減目標
2. 平成23年報告書に基づく対策の実施状況
  - (1) 安全基準の強化・拡充
  - (2) ASV推進計画
  - (3) 自動車アセスメント
  - (4) 医工連携
  - (5) 超小型モビリティ
  - (6) 平成23年報告書に示された目標の達成状況（中間評価）

\*\*\*\*\*

## 付録2 諸外国における車両の安全対策の実施状況